

授業評価アンケート結果を活用した授業改善事例

本学では、学生から寄せられた授業評価アンケートの結果を教育改善にも活用しています。ここでは、2025（令和 7）年度の授業評価アンケートから行った各授業における具体的な改善の取り組みを紹介します。

● 課題周知や試験内容の見直し

授業評価アンケートにおいて、課題の周知方法や試験内容について改善を求める声がありました。これを受け、UNIPA や Moodle など複数の手段を活用して課題を周知するなど、学生が必要な情報を確認しやすい環境づくりに取り組んでいます。

● 興味・関心を高める授業づくり

授業評価アンケートにおいて、学生の興味・関心をさらに高める工夫が必要であることが確認されました。授業内に問題演習や身近な事例を取り入れることで、学生が主体的に参加しやすい授業展開を目指しています。

● 板書の見やすさを改善

学生からの意見を踏まえ、板書の文字の大きさや構成が分かりやすいものとなるよう改善に取り組んでいます。授業内容をより理解しやすく伝えるため、視認性や説明の流れにも配慮しています。

● 柔軟な学習環境と実践的な学びの充実

ハイフレックス授業の運用により、学生の学習環境の柔軟性を高め、学習機会の拡充につなげています。また、演習における生成 AI の活用や、YouTube を用いた自己復習環境の整備により、実務応用能力や主体的な学びを促す取組を進めています。

● 授業時間・課題返却・学習活動の工夫

授業の終了時刻や課題返却に関する学生からの意見を受け、授業運営の改善に努めています。また、AI を用いて作成されたレポートへの対応として、授業内でのプレゼンテーションやペアワークを取り入れるなど、学習成果を多面的に確認する工夫を行っています。

- **課題評価とフィードバック方法の見直し**

課題の評価方法やフィードバックのあり方について、学生からの意見を踏まえて見直しを進めています。評価の妥当性を再確認するとともに、より効果的かつ効率的に学習支援につながるフィードバック方法を検討しています。

- **授業内容の分量に応じた説明の工夫**

学生から、扱う分野の量が多く、全体についてより丁寧な説明を求める声がありました。これを受け、課題等の補足説明の中で重要な内容を詳しく解説するなど、理解を深めるための工夫を行っています。

- **学部内 FD による授業改善の共有**

薬学部では、授業改善を目的とした FD 活動の一環として、教員間で授業評価アンケート結果を共有し、課題の分析や改善計画について意見交換を行っています。平均を下回った項目を中心に授業内容を見直すなど、組織的な改善につなげています。

- **学生の理解度に応じた授業ペースの調整**

一部の学生から、教科書の内容が難しいとの意見が寄せられました。学生の反応を確認しながら、授業の進度や難易度を調整し、理解しやすい授業となるよう継続的に改善を図っています。